

宇部市総合計画審議会生活環境分科会（第3回）議事録 【要旨】

日 時 平成21年2月26日（木）15：25～17：00

場 所 宇部市総合福祉会館4階 大ホール

出席者（委員）藤重清美 脇和也 北野洋子

（事務局）新総合計画策定室長 廣中昭久 総合政策課主任 西田一雄

（専門部会）環境部次長 今川利夫 都市開発部次長 内田英明

欠席者（委員）松崎益徳 篠田佳代子

1 生活環境分野における今後の方向性について

<コンパクトシティについて>

（委員）すでに郊外化している「まち」や人を中心市街地に集めるのは無理がある。厚南や東西岐波をサテライトとして位置付けることはコンパクトシティの考え方と合わないのだろうか。

（事務局）都市的な機能やサービスの提供が中心部に集約され、地域拠点との間の移動手段が公共交通により確保されていれば、それもコンパクトシティとして位置付けられるのではないだろうか。

（専門部会）住居地域が広範囲にわたっているため、市街地とはどこかというのが宇部市の場合つかみにくい。コンパクトシティを目指すのは現実的でないかも。

（委員）その広い市街地の中を効率的にすばやく動けるようなまちづくりを目標とするのが現実的ではないか。利便性を高めたまちづくりを目指すべき。

<緑化について>

（委員）緑化とその延長線上にある彫刻を中心としたまちづくりを目指すべきだと考える。ハード整備中心のまちづくりは、財政難の中では困難。市街地への緑化や植樹を促進し、NPO等を利用し、カーボンオフセットの考えを取り入れた仕組みを推進してはどうか。市民が主体となった緑化を進めることが必要である。

<大学について>

（委員）医学部や工学部が市内にある経済効果は大きい。大学にやさしいまちづくりを進めなければ、逃げられる。工学部前の通りについても、自転車や徒歩で通いやすいように改修するべき。また、大学としての周辺を含めたエリアの雰囲気づくりにも配慮しなければならない。

（委員）学生がわくわくしながら、街なかに出てくるために何が必要なのかよく分からないところもあり、若い人が集めるような仕掛けをどう企画するべきか研究してみる必要があるのではないか。三浦副委員長や松崎委員にその辺りをまとめていただけるといいのだが。

<人にやさしいまちづくり>

(委員) 大学生や高齢者といった車を使わない歩行者、自転車利用者にやさしいまちづくりを進める方向が必要である。環境のためにも、市民の健康のためにもなる。

太陽光発電の促進などエネルギー問題への取組や水不足にも対応したサステイナブルなまちづくりの視点も必要。

<常盤公園について>

(事務局) 常盤公園を観光資源として今後とも整備し、遊園地・猿舎ゾーンも充実させるのか、自然を生かした市民のための都市公園として整備していくのか、方向性をはっきりさせる分岐点にあると考えている。このままどっちつかずのままでは施策上も問題を抱えた状態が続くと思われる。

(委員) 周遊できる遊歩道のほかに健康遊具等を設置し、市民の健康づくりを中心にした都市公園として今後整備していくべきでは。現在は、ターゲットが曖昧で全てが中途半端。また、遊歩道に距離により消費カロリーを表示して、ウォーキングを推奨する試みも面白いのではないか。

健康志向傾向にあることから、常盤公園のみならず、市内の各街区公園にも、遊具ではなく、健康器具を設置する案も考えられる。

(専門部会) 遊園地は現に民間企業にその運営を任せており、その扱いを含め、すぐさま方針を変更することは現実的に困難な事情もある。

<彫刻について>

(委員) これまで続けてきた彫刻は絶対に止めてはいけない。しかし、これまでの現代彫刻中心の取組では、市民の興味、関心を得ることは難しいと考えられる。今後の彫刻のあり方や展示方法、審査方法やそのメンバーについて見直す必要もあると思われる。

(委員) 山口宇部空港に彫刻を展示し、彫刻のまちであることをもっとアピールすべきではないか。来訪者に対するアプローチに配慮がない。

<定住自立圏構想について>

(委員) これについては、どの分科会で話し合うのか。

(事務局) 定住自立圏構想については、道州制と並び、地方分権の推進を背景にした行政上の課題であることから、どの分科会にも属さず、まちづくりの目標の柱から言えば、5本目の柱として、別途事務局側で案を作成することになると考えている。

次回の会議で、SWOT分析の表を完成させ、及びこの分野のまちづくりの目標の設定することにする。また、スムーズに検討を進めるため、SWOT分析に関する意見やまちづくりの目標の案を文書で3月末を目途に、事前に事務局に提出し、それをまとめたSWOT分析の表を当日の資料として、事務局が作成することとする。

※次回開催 第5回審議会全体会議の後